

認知症に関する活動計画（概要）

神奈川県作業療法士会では2015年度から認知症対策委員会を設置し、会員に対する知識向上や関連団体・機関との連携を深める活動を続けています。

今年度からは地域社会振興部内の認知症班として、様々な分野と横断的に研修会事業や他業種との連携活動をしていくことで、地域における作業療法士の役割について考えていきます。県内にある本人・家族会や関連団体の活動に参画していけるよう、活躍できる部員の増員を図っていきます。

認知症月間でのイベント協力

全国的に行われている認知症の理解を啓発するタスキリレー『RUN伴+』の活動に部員が参加しています。

また、認知症のイメージカラーであるオレンジ色の県士会ロゴマークを作成し、認知症月間中に行われる県士会イベントや刊行物で活用しています。認知症と作業療法の関係を広く啓発しています。



『RUN伴+三浦半島』の様子

認知症の人と家族の会との連携事業

県内にある認知症関連団体とつながりを持ち、若年性認知症を含む本人・家族会の活動に部員を派遣しています。県内で行われる認知症関連イベントに参加して、コグニサイズやワークショップ、相談コーナー等の対応をしています。また、自治体から依頼を受けて「家族支援プログラム」として認知症へのリハビリテーションに関する講演を継続的に行っています。



県士会ロゴマーク オレンジVer

研修会事業（県民参加型）

認知症に関する知識や情報のアップデートを目的とする研修会を年2回開催しています。

認知機能評価や生活行為への関わり方、目標設定の方法について学んだり、社会資源や地域の実態把握、認知症フレンドリー社会の実現に向けたディスカッションなど、ご本人・ご家族と一緒に県民参加型でともに学び合う研修会を企画しています。



『アップデート研修（地域編）』の様子